

団体名

EKOTTOプロジェクトチーム

事業名

江古田に行こっと！子育て応援タウン！
～EKOTTOプロジェクト～

メンバー一覧

	氏名	所属など
代表	栗原 まこ	NPO法人ママコモガーデン
	根岸 拓哉	まちの保育園
	三澤 嘉範	パソコンの電気屋
	萩原 瞳	ベーカリーマザーグース
協力団体 ・ 協力予定団体	(商店会) 旭丘銀座商店会、旭丘千川通り商店会、旭丘中央商栄会、旭丘東商店会、旭丘文化通り商店会、江古田市場通り商店会、日大通り商店会、江古田駅北口商店会、江古田銀座商店会、栄町本通り商店会振興組合 (町会) 栄町町会、羽沢町会、豊玉第一町会、小竹町会、旭丘東町会、旭丘第一町会、旭丘第二町会 (学校、保育園、幼稚園) 日大芸術学部、武蔵大学、武蔵野音楽大学、まちの保育園、その他幼稚園、保育園、小学校 (その他団体) 江古田のまちの芸術祭実行委員会、えこだパンさんぽ、江古田キャンバスプロジェクト、劇団一の会 等	
区職員	石井 啓太郎	練馬子ども家庭支援センター
区職員	小林 磨央	土木部管理課道路台帳係
区職員	塚越 萌	協働推進課協働事業担当係

事業目的

子育てがしやすいまちづくりを通じて、住民の江古田への愛着を醸成し地域の活性化を図る

協力団体・
商店



江古田に行こっと!子育て応援タウン



エコットプロジェクト

子育て
世代



現在の江古田

江古田の魅力

個性的なお店・スポットが
たくさんある！

商店街・町会・大学・地域団体な
ど、いろんな団体が
魅力ある活動を行っている！

もっと、
子育て世代に街に
くりだしてほしい！！

江古田に行こっと！子育て応援タウン



エコットプロジェクト

1

子育て世代をターゲットと
した情報の一元化

2

子育て世代に優しい
商店街作り

3

子育て世代の居場所
づくり

町会

商店会

3大学

飲食店

地域団体

未来の江古田

子ども・子育て
応援のまち

地域全体で子育てを
応援する地域社会
づくり

安心・安
全に子育
てできる
まち

住み続
けたく
なるま
ち

訪れた
くなる
まち

商店街
の活気
あるま
ち

3年間の到達目標

事業に協力する団体・商店や、子育て世代に向けた取り組みを増やし、それらを発信し利用を促すことで、江古田地域全体に子育てしやすい雰囲気醸成する。

令和2年度

令和3年度

令和4年度

【通年】応援店の募集、地域住民・地域商店への周知活動の実施

基盤づくり

新設するホームページやステッカーの作成・配布等を通じて、事業を応援してくれる店を募る。また、町会等へ働きかけを行い、活動を進めていくうえでの基盤を固める。

充実

子育て応援事業の一環として、パパママの交流会や、地域の子ども見守り環境の構築などを行う。またHPやSNSを活用しながら、事業の幅広い認知度向上をはかる。

普及

3年間の集大成として、これまで獲得した応援店や住民の協力のもと、江古田で活動する様々な団体を広く巻き込んで事業を展開。事業の浸透と更なる普及を狙う。

令和2年度の取り組み

HPの作成 SNSの運用

2年度の3月にHPを公開、SNSはインスタグラムを開設。

商店会や町会の枠を超えた地域行事、江古田子育て応援店等の地域情報を包括・発信し始めた。



HPのイメージ

応援店の募集 ステッカーの作成

子ども連れに優しい店舗を増やす取り組み。

EKOTTOプロジェクトのロゴを使用したステッカーを作成し、貼付する応援店を募った。



募集ポスター



ステッカー

もくもく勉強会の開催

コロナ禍により、休校や自粛になった小中学生の学習の場づくりを目的とした勉強会を開始した。



勉強会の様子

令和3年度の取り組み

動画の作成

EKOTTOプロジェクトのPR動画と子どもとの関わりをテーマにした啓発動画を作成。

日本大学芸術学部の学生や地域の店舗、住民の協力を得て作成した。



PR動画のイメージ

アンケートの実施

29名の方を対象に、「江古田は子育てしやすいまちだと思いますか？」というアンケートを実施した。子育て世帯の悩みやニーズの把握を行った。

パパママミーティングの実施

子育て中の家族を対象とした座談会を開催。

年度内合計で10組の家族が参加し、各家族の悩みを共有した。



ミーティングの様子

子育て応援店MAPの作成

子育て応援店を掲載したMAP(フリーペーパー)を作成。

今年度の4月に行ったイベントで配布した。



MAPのイメージ

昨年度までの課題と今年度の取り組み

昨年度発表した課題

- 人的、資金的な協力
- 情報発信・周知の工夫、強化
- 子育て応援店へのさらなるアプローチ

報告会で受けた助言

- ターゲットの明確化と活動の整理
- 子育て応援店の取り組みの見直し
- わかりやすい情報発信
- 子育て世代を巻き込んで協力者増やす

事業の整理

- 子育て応援店にターゲットを絞った活動

子育て応援店の拡大

- 利用者のニーズの把握
- スーパー子育て応援店の設定

認知度向上

- フリーペーパーの作成
- イベントの実施

団体体制強化

- EKOTTOサポーターの確保
- スーパー子育て応援店の確保

●令和4年度の取り組み(事業の整理)

事業の整理

EKOTTOプロジェクトを令和4年度以降も安定的かつ持続可能な事業にするため、改めて目的や施策等を整理した。

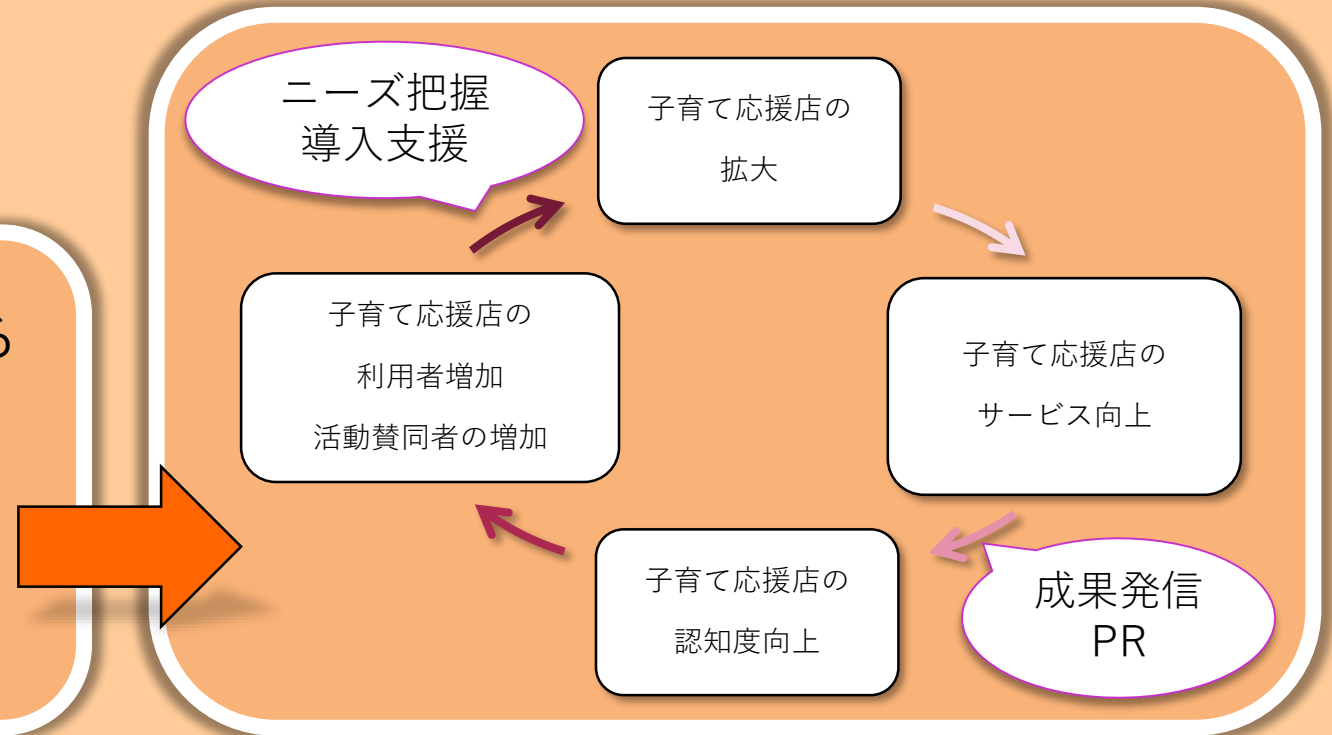
Vision 江古田が子育てしやすいまちになる

Mission 子育て応援店を増やす

施策1 子育て応援店舗の充実

施策2 子育て応援店舗の認知度向上

子育て応援店の増加サイクル



⇒事業のターゲットを子育て応援店に絞り、充実を図るために他の店舗の手本となる「質の高い子育て応援店」を増やし、周知することを今年度の取り組みの核とした

●令和4年度の取り組み(子育て応援店の拡大)

子育て世帯のニーズ把握

江古田周辺に住む子育て世帯(46人)を対象に、子育て応援店に対するニーズを把握するため、アンケートをとった。その結果、現在示している子育て応援内容に加えて、「子ども向けのメニューがある」等のメニューに関するサービスが重要視されていることが判明した。

現在の子育て応援内容



メニューに関する
マークが無い



順位	子育て応援店にあつたらいいなと思うもの、サービスの中で最も重要視するものはなんですか？
1	ベビーカーのまま入店できる
2	子ども好きな店員さんがいる
3	個室や座敷がある
4	おむつ交換できるスペースがある
5	子ども向けのキッズメニュー、お子様プレートなどがある
6	通常メニューを減塩や辛さを控えるなど味を調整して注文できる
7	子ども用の食器、スプーン、フォーク等を提供してくれる
8	通常メニューの半量を割引で注文できる

●令和4年度の取り組み(子育て応援店の拡大)

スーパー子育て応援店の設定

子育て応援店の見本となる店舗を「スーパー子育て応援店」として設定し、子育て世帯が求めている取り組みを導入してもらった。また、スーパー子育て応援店の定義には、ニーズ把握により判明した内容を盛り込んだ。

スーパー子育て応援店の定義

- 子育て応援店の中でも、さらに子育て中の方に嬉しい、訪れやすい取り組みをしている店
- 飲食店の場合 子ども向けのメニュー対応がある
- 飲食店以外の場合 子ども向けの特別なサービスがある

スーパー子育て応援店 (10店舗)

- ・YASAcI HANA
- ・Cafe earth
- ・マザーグース
- ・雑貨屋みつぼし
- ・まるてる食堂
- ・ Vieill bakerycafe & gallery
- ・ママコモハウス
- ・めぐりふく
- ・えんむすび
- ・ violetti

●令和4年度の取り組み(認知度向上)

江古田子育て応援BOOKの作成および配布

スーパー子育て応援店の特集記事をメインとしたフリーペーパーを作成、配布した。子育て応援店だけでなく「おでかけスポット」、「遊び場」など子育てに役立つ情報を掲載し、手元に置いてもらえるようなタウンページを目指した。

江古田子育て応援BOOKの概要

- ・目的 子育て応援店の認知度向上
- ・配布先 江古田駅周辺の保育園、幼稚園、子育て施設等
- ・発行部数 5000部
- ・作成者 「子育て応援店」→原稿作成
- ・作成者 「EKOTTOサポーター」→取材
- ・作成者 「メンバー」→それ以外



(A5サイズ 46ページ)

●令和4年度の取り組み(団体体制強化)

EKOTTOサポーターの確保

EKOTTOプロジェクトの協力者を増やすため、「EKOTTOサポーター」を募集し、江古田周辺に住むママが5名集まった。

スーパー子育て応援店の協力

EKOTTOプロジェクトの協力者として、EKOTTOサポーターと共に江古田子育て応援BOOKを作成した。

写真撮影など、集まったメンバーの特技を生かして取材チームを作成。スーパー子育て応援店の記事を作成した。

子育て応援BOOK
作成協力

編集チームとして3~4店舗の代表者が意見を出し合い、構成を検討&記事作成した。

取材の様子

えんむすび



ママコモハウス



●令和4年度の取り組み(認知度向上)

イベントの実施(EKOTTOフェス)

EKOTTOプロジェクトの事業および子育て応援店等の認知度を拡大するため、江古田駅南口駅前広場で子育て応援イベントを開催した。令和3年度に作成した子育て応援MAPを約300枚配布し、子育て応援店のPR等を実施した。

「EKOTTOフェス」の概要

目的:EKOTTOプロジェクトおよび子育て応援店の周知

開催日時: 令和4年4月10日(日)

協力者:子育て応援店(14店舗)、日本大学芸術学部等

●Instagram登録者数

166人(イベント前)→ 289人(イベント後)

子育て応援MAP



●令和4年度の取り組み(認知度向上)

●イベントの実施(江古田のまちの芸術祭)

江古田のまちの芸術祭とコラボし、子ども向けコンテンツを提供。EKOTTOプロジェクトの周知をするとともに、子育て世帯がよく行くお店を調査した。地域の他のイベントとの相互の協力関係を作り、今後も地域で活動していく基盤を作った。

「江古田のまちの芸術祭」コラボイベント

目的:EKOTTOプロジェクトの周知および江古田への定着

開催日時: 2022年11月5日(土)

内容:子供向けコンサート、ワークショップ、アンケート等

●Instagram登録者数

290人(イベント前)→350人(イベント後)

イベントの様子



●令和4年度の成果(定量)

項目	内容	令和3年度末	令和5年2月時点
子育て応援店数	質の高い子育て応援店を増やす	0店舗	10店舗
	子育て応援店全体	42店舗	48店舗 (6店舗増加)
事業の認知	フリーペーパー作成	-	5,000部
	Instagramによる発信	19投稿 166フォロワー	55投稿 359フォロワー
	ホームページによる発信	50件	65件
協力者の増	店舗	2店舗	10店舗
	サポーター(ママ)	0人	5人

●令和4年度の成果(事業継続可能性の向上)

注力事業の整理

・EKOTTOとして、応援店の質向上や地域イベントの実施に注力することで、結果として保護者や地域の連携に繋がった。

当事者であるママや店舗の協力者獲得

・子育て応援BOOKの制作を通して協力者を獲得
保護者(EKOTTOサポーター)、店舗(スーパー子育て応援店)
今後のSNS運用者候補との出会いにも繋がった。

地域イベントとの協働体制構築

・駅前広場を借用することで「江古田のまちの芸術祭」へのコンテンツ提供およびイベント認知向上においても寄与できた

収入源の見通し

・フリーペーパー広告出稿者を募り、広告費16万円(のべ11件)が見込めることが分かった。今後の事業展開時の基準値となる。

●今後のアクション

地域イベントへの協力

・江古田のまちの芸術祭やパンさんぽ、そのほか地域のお祭や商店会のイベントなど、可能な範囲で子育て関連のコーナーを担う等して、相乗効果を狙う

・イベント開催時にやりたい企画があるか募り、保護者、店舗が主体的に活動に関わるきっかけづくりをする(例)キッズシアター、料理道場、写真撮影会など

継続的な広報、発信

・Instagramの活用
・フリーペーパー等の広報物制作について検討

●令和5年度以降の展望 ～運営の方向性～

・費用面での持続可能性を確保

ホームページ維持費が3万円/年間

イベント参加費等の収益、町会等からの協賛費、広告収入など

・地域のイベントへのあいのり

-秋の、江古田のまちの芸術祭やパンさんぽへ参画する※それ以外の地域イベントも

-イベント内のコーナー獲得

-保護者(サポーター)、子育て応援店、地域住民など企画者へのサポート

-企画者のやりたいことを応援する(アイデアなどの情報、人脈)

・継続的な広報発信(保護者および店舗に向けて)

-毎月の発信と、3-5年後等に総括的な情報発信(ホームページ、冊子)

-店舗の獲得については、イベント企画時に近隣のお店のLINEグループに向けて広く募る。

EKOTTO LINEグループについても検討

●令和5年度以降の展望 ～事業の浸透と普及～

取り組み施策

1.情報一元化(集約、発信)

子育て世帯が地元のお店を知らない。ので、まずは知ってもらい、行くきっかけを作る。

2.商店街づくり

お店に行った際、満足度があがるように子育て応援店の質向上を図る。

3.居場所づくり

質が高まると、リピーターが増え、親子が継続的に通うような居場所となる。

4.地元の顔なじみを増やす

居場所となれば、店舗と保護者、店舗利用者同士のコミュニケーションが増え、顔なじみになる。

5.イベント連携等、団体間の繋がり

顔なじみが人を繋ぎ、企画が起こる。お店や保護者がやることを通して、地域イベントのことを知ったり、地域の人たち、町会、商店会が繋がる。

6.ボランティア等人材流動性の向上

地域の人たち、町会、商店会が知りあうことで、地域住民のイベント参画気運が高まる。

●令和5年度以降の展望 ～事業の浸透と普及～

短期的効果

3-5年 中長期的、発展的効果 地域への波及効果

取り組み施策概要 対象	1.情報一元化(集約、発信) 2.商店街づくり 3.居場所づくり	4.地元の顔なじみを増やす 5.イベント連携等、団体間の繋がり 6.ボランティア等人材流動性の向上
子ども	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な世代との交流 ・憧れモデルの選択肢が増える ・学びの機会が増える 	<ul style="list-style-type: none"> ・安心安全に地域を出歩ける ・将来のまちの担い手気運の情勢
子育て世代(保護者)	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てサポート環境の充実 ・子育て不安の軽減 	<ul style="list-style-type: none"> ・助け合いの関係構築 ・世代間の繋がり強化
地域、社会(お店、施設、学校、シニア含む 地域住民)	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の一括化による集客向上 ・交流促進 ・様々な立場から子育てに関われる 	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な人の流入、賑わい向上 ・担い手不足の解消 ・活躍機会が増える